

生研ニュース

部 外 活 動

— 講 演 —

- ◇助教授 末岡清市 助手 佐藤正千代「強い電場におけるヘリウムのスタルク効果について(II)」日本物理学会年會講演會(大阪)(1950・11・5)
- ◇助教授 末岡清市「ヘリウムのスタルク線の異常強度について」(同上)
- ◇教授 小川芳樹 助教授 久松敬弘「鐵の陽極酸化被膜—10% HNO₃—」金屬表面技術協會第2回講演會(1950・11・13)
- ◇教授 小川芳樹 助教授 久松敬弘 山田龍男「鐵の陽極酸化被膜—10% H₂SO₄—」(同上)
- ◇教授 宮津純「齒車ポンプのキャピテーション」機械學會主催、キャピテーションに關する座談會(1950・11・18)
- ◇教授 池田健「車體側構の強度計算について」日本

應用力學會講演會(1950・11・26)

- ◇教授 池田健 助教授 森大吉郎 大學院特研究生 富田文治「試作容量型歪計について」(同上)
- ◇助教授 森大吉郎 大學院特研究生 富田文治「振動試験における起振装置について」(同上)
- ◇助教授 松下幸雄「製鋼における溶融スラッグの活動能の現場の指示法について」學術振興會第19小委員會製鋼分科會 第36回會議(1950・11・29)

— 寄 稿 —

- ◇助教授 大井光四郎「圓形の穴を有する平面および直線に限られた半平面上の應力函数について」機械學會論文集 第16卷 第55號
- ◇助教授 森大吉郎 大學院特研究生 富田文治「光電管による土の中の壓力測定」土木學會誌 第35卷 第6號(1950・6)
- ◇教授 小川芳樹 助教授 久松敬弘「亜鉛メッキ附着量試験の検討」金屬表面技術協會誌 第1卷 第6號
- ◇講師 藤森榮二「螢光反應に關する研究(第2報)—酸化型螢光分子の明螢光反應」日本化學雜誌 第71卷 第10號(1950)

— 筆 者 紹 介 —

- ◇三宮吾郎氏 いすゞ自動車社長
- ◇池田 健氏 所員 教授 專攻 應用彈性學
- ◇平尾 收氏 // 助教授 自動車技術會理事 專攻 內燃機關
- ◇正木六郎氏 工業技術廳機械試驗所技官(自動車部)
- ◇亙理 厚氏 所員 助教授 專攻 振動及吸振器學
- ◇石原智男氏 // // // 流體力學及流體

- ◇淺原照三氏 所員 助教授 專攻 油脂及燃料化學
- ◇吉城肇蔚氏 自動車技術協會常任理事 本所講師 專攻 機械材料
- ◇森大吉郎氏 所員 助教授 專攻 材料力學
- ◇富田文治氏 大學院特別研究生 專攻 材料力學
- ◇木村貞雄氏 毎日新聞社技術調査室

編 集 後 記

◇自動車については、すでに本誌にも外觀美とか、輸送力などが論述されたが、本號では新しい技術的なことがらを中心として、主として所内の方々から自身の研究を織込んで概論的に書いていただいた。内容を一見すれば、自動車の技術ではどのようなことが問題となつていゝるか或る程度わかる。また戦後航空技術がどのように導入されてきたか、或は航空關係技術者の一部が自動車の分野でどんなことをやつていゝかやうかがえて興味深い。

◇三宮・正木兩氏は貴重な原稿を寄せられたので、巻頭を飾り内容を充實させることができた。また富士、いすゞの兩社から多數の寫眞を提供

していただいた、(D.M.)

◇本號の技術史ノートにゼネラルモーター社の小冊子のことが紹介されている、このねらいを單に會社従業員にかぎらず、工業や生産界全般を対象として新しい技術を啓示すると同時に、各部門の工業の發展を歴史の流れの中で社會との連關において知ることによつて、それら工業への一層の愛着と大きな視野からの正しい方向をつかんでいただくことが本誌の他面の目的といつてもよい。それは本誌が果すよりないと思ふ。

◇「思いつきの工作」はもちろん結構である。だがこれだけを追うことにはいふまでもなく疑問がある。アトミックポンプはつくつたが、その使用面については我不關焉といきつてしまえるだろうか。(H.M.)

編 集 委 員

- 編集委員長 星 合 正 治
- 編集委員 三木五三郎 宮津 純
- 元良 誠三 *丹羽 登
- 星野 昌一 濱口 隆一
- 淺原 照三 松下 幸雄
- 小川 正義 江口 雅彦
- *森 大吉郎 小瀬 輝次
- 藤森 榮二

編集幹事 下村潤二郎

編集室 水野晴明

(*印は當番委員)

☆表紙説明☆

みんせい—ふじ BR 30 型リ
ヤーエンジン・フレームレス・
バス

第3卷第2號 生産研究 定價 70圓(郵税3圓)
1951年1月25日印刷 1951年2月1日發行

編集者 星 合 正 治
東大生産技術研究所
千葉市千葉区内彌生町
電話 千葉 366-370

發行者 小 川 誠 一 郎

印刷者 井 關 好 彦

印刷所 大同印刷株式會社
東京都千代田區神田錦町 3-1

發行所 株式會社 誠 文 堂 新 光 社
東京都千代田區神田錦町 1-5
電話 神田 (25) 2126-2130
振替 東京 6294・6567